

スタートアップへの成長支援ver3.0

- 徹底サポートによる飛躍と社会課題の解決 -

2022年7月21日

経済産業省北海道経済産業局

【本発表資料のお問い合わせ先】

経済産業省北海道経済産業局

地域経済部 産業技術革新課（担当：南、滝口、有田）

電話：011-709-2311(内線2588)

E-mail：hokkaido-gijutsu@meti.go.jp

要 旨

- ▶ 先端テクノロジーを活用した社会課題の解決や、新たなサービスやビジネスモデルを創造する担い手として、スタートアップの活躍が期待されています。
- ▶ 道内では、スタートアップの創出・成長に不可欠な「スタートアップ・エコシステム」の形成が進展する一方、事業計画やビジネスモデルの策定、資金や人材の確保等、様々な課題があり、成長の妨げになっています。
- ▶ これまで北海道経済産業局では、スタートアップの課題解決のための専門家によるサポートや、マッチングの機会を提供し、大手企業との協業促進や人材の確保において、一定の成果を上げました。
- ▶ 今年度は、さらに支援施策の充実を図り、経営課題解決の徹底サポートや外部リソース獲得のためのマッチング支援に加えて、「社会課題の解決」に焦点を当て、課題を有する自治体とのマッチング及び社会実装へ向けた実証支援を通じて、スタートアップの成長を推進します。

1. 北海道内の主なスタートアップ支援の動き

- ▶ 2019年から取組を開始した札幌市の「STARTUP CITY SAPPORO」※1や、2020年の内閣府「スタートアップ・エコシステム推進拠点都市」※2への選定、当局・札幌市が運営する「J-Startup HOKKAIDO」※3等の動きを中心に、北海道ではスタートアップ・エコシステム形成の動きが進展。

※1：参考1参照 ※2：参考2参照 ※3：参考3参照

◆成長ステージに応じた主なスタートアップ支援の取組

コミュニティ形成

シード

アーリー

ミドル

レイター



【札幌市：STARTUP CITY SAPPORO】

- ▶ 学生・社会人・研究者向け起業プログラム
- ▶ 起業関心層へのセミナー・相談会・各種起業補助金
- ▶ 地域・行政課題×スタートアップの行政オープンイノベーション



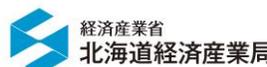
【北海道経済産業局・札幌市：J-Startup HOKKAIDO】

- ▶ 各支援施策の活用による集中支援
- ▶ 民間サポーターによる事業PRや情報提供等



【北海道】

- ▶ 事業企画のアイデアソン
- ▶ 実証実験の支援



【北海道経済産業局】

- ▶ コーディネーター・専門家による課題解決
- ▶ オープンイノベーションマッチング
- ▶ VC・人材マッチング



【帯広信用金庫・十勝19市町村】

- ▶ 事業創発・メンタリング
- ▶ ネットワーキング



【HSFC：エイチフォース】

- ▶ 研究者・学生の起業支援プログラム
 - ▶ スタートアップ支援人材の育成
- ※スタートアップの創出と育成を目指す道内の大学・高等専のネットワーク

- 行政の取組
- 民間の取組
- ファンド
- 大学

【NoMaps】

- ▶ NoMaps クリエイティブな発想や技術の交流・発信

【札幌イノベーションファンド（7.6億円）】



【北海道特化型VC（3億円）】

北洋銀行【北洋SDGs推進2号ファンド（5億円）】



【北海道特化型アクセラレータープログラム】

- ▶ 新規事業、起業をアクセラ支援
- ▶ インキュベーション施設の運営

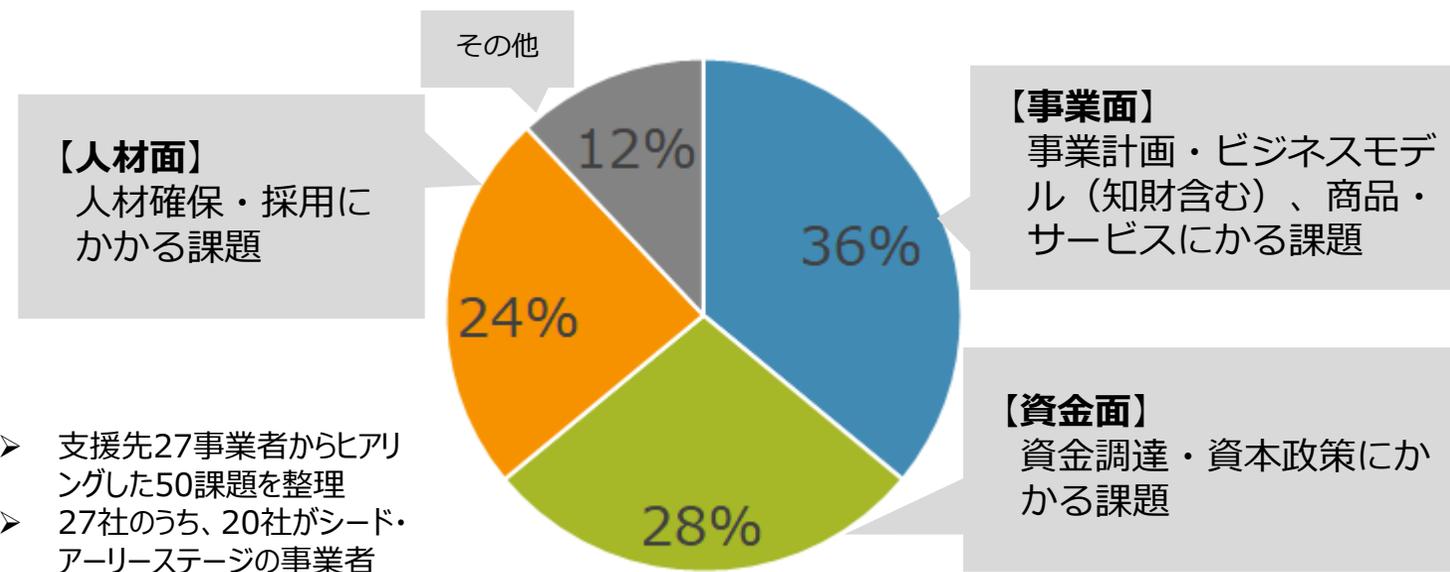


【北海道グリーン1号ファンド（5億円）】

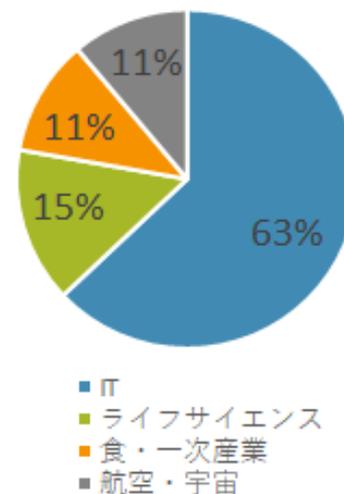
2. スタートアップ企業の課題と必要な支援

- R3年度の支援先スタートアップが有する課題は、大きく「事業面」、「資金面」、「人材面」の3つに分類され、これらの課題やリソースの不足が、短期間での成長の妨げとなっている。
- また、課題解決が必要なスタートアップの特徴として、7割以上が「シード・アーリーステージ」であり、成長に不可欠な**資本政策や知財面等、高度な対応が必要となる課題が多くみられる。**
- R4年度は、必要な支援策を以下の3つに整理し実行するとともに、**成長のエンジンとなる「社会課題解決」のためのマッチング・実証支援を重点とする。**
 - ① 課題解決のための個別支援
 - ② 不足するリソースを獲得するためのマッチング
 - ③ 成長をサポートするための環境整備やネットワークの充実

<支援先の課題>



<参考：支援先の分野>



- 支援先27事業者の分野を整理

3. R4年度のスタートアップ支援〈全体概要〉

※二重枠は今年度の新規事業

I スタートアップの成長支援

【1】課題解決支援

①コーディネーター・専門家による徹底サポート

P5

②知財戦略策定アクセラレーション事業

P7

③スタートアップスタジオの試行

P8

【2】マッチング

①人材マッチング

P9

②VC※とのマッチング

※ベンチャーキャピタル

P10

③NoMapsビジネスプラットフォームコンテストの開催

P10

【3】ネットワーク・情報発信

①支援ネットワーク強化

P11

②デジタル時代のスタートアップ創出セミナー

P11

③メディアを活用した情報発信の強化

P11

II オープンイノベーションを通じた課題解決支援

①大手企業とのオープンイノベーションマッチング

P12

②自治体の課題解決〈マッチング支援〉

P13

③自治体の課題解決〈実証支援〉

P14

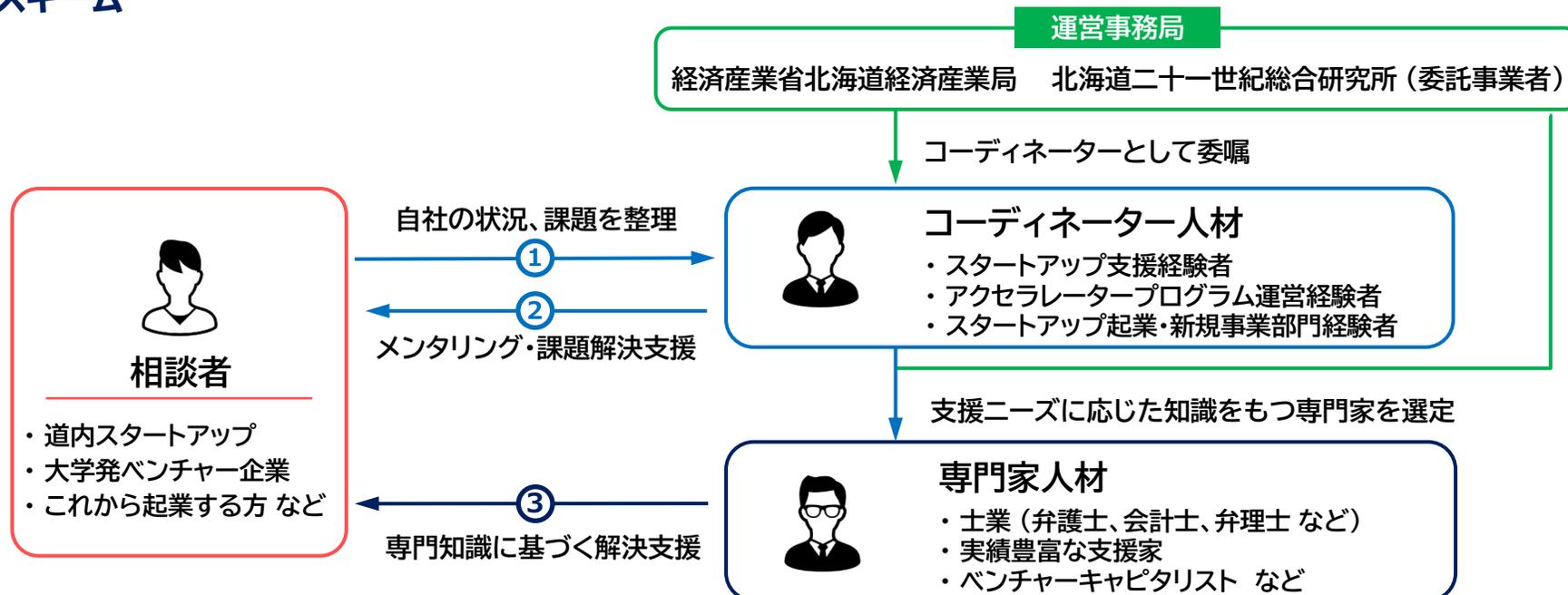
I-[1] ①コーディネーター・専門家による徹底サポート

- スタートアップ支援に精通したコーディネーター（3名配置）が課題を特定するとともに、メンタリングや課題解決支援を実施。
- 必要に応じて、事業戦略、資本政策、法務等、スタートアップ企業の事業成長に必要な分野に精通した専門家を選定・活用し、課題解決のための徹底サポートを実施。

支援対象

- 当局・事務局（委託先）が、札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会※からの推薦や、本事業の周知を通じて、支援ニーズの掘り起こしを行う。 ※参考2参照
 - ・「J-Startup HOKKAIDO」認定スタートアップ企業
 - ・道内のスタートアップ企業や起業家 等

支援スキーム



I-[1] ① コーディネーター・専門家による徹底サポート

コーディネーター



(株)日本総合研究所
リサーチ・コンサルティング 部門
コンサルタント

井村 圭

スタートアップコミュニティの運営等を通じ、多くの起業家・スタートアップをサポート。大手事業会社やベンチャーキャピタルとの広いネットワークを有する。



(株)POLAR
SHORTCUT
代表取締役CEO

大久保 徳彦

大手企業やスタートアップで、新商品企画や新規事業推進プロジェクトに従事。2021年4月、北海道エリアに特化した「POLARSHORTCUT1号ファンド」設立。



(株)DRIVE
Incubation
代表取締役

藤間 恭平

アクセラプログラム「Open Network Lab HOKKAIDO」や「STARTUP CITY SAPPORO」プロジェクトを運営するなど、多数のスタートアップを支援。

主な専門家



(株)エタラカ
代表取締役

佐藤 健太郎

上場企業にてCFOから代表まで務めた後、スタートアップ複数社において、資本政策、バックオフィス構築などの業務に携わる。現在、複数スタートアップの役員を兼務。

経営課題



公認会計士

染原 友博

監査法人、大手証券（M&Aアドバイザー）を経て独立開業。CFOとして上場を主導した経験も有し、複数のスタートアップを顧問や社外役員などとして支援。

財務



(株)アカデミック
・ギャングスター
代表取締役

中川 卓也

事業戦略、金融資本戦略、ファイナンス、アライアンス、コーポレートガバナンス、人材組織開発、ストックオプション設計、イグジット戦略等、多数の支援実績を持つ。

資本政策

※上記の専門家に加えて、課題の内容に応じて、適切な分野・領域の専門家を選定。

I-[1] ②知財戦略策定アクセラレーション事業

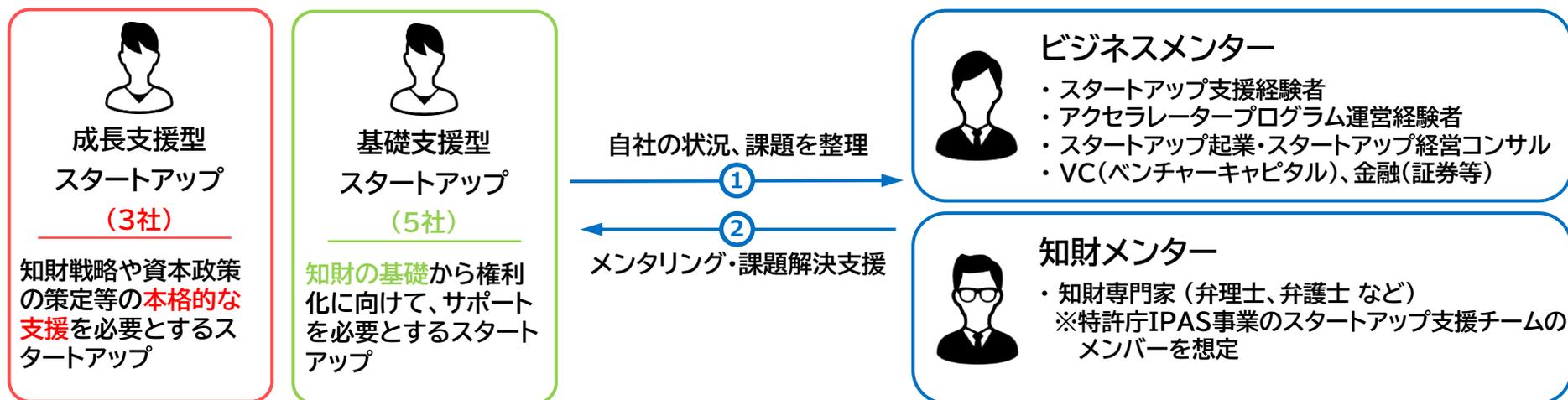
- スタートアップが技術やアイデアをスピード感を持って事業化するためには、競争力の源泉である「知的財産」を「経営」に活かした取組が不可欠。
- 知財をはじめ経営戦略、資本政策等の専門家による支援チームにより、ビジネスモデル策定や知財戦略構築等をオーダーメイド型で支援。

知財マインド向上セミナーの開催 -知財への「気づき」を提供-

- スタートアップの事業成長に必要な「知財」の重要性を投資家目線で啓発し、セミナーを通じて、知財支援が必要なスタートアップを発掘。
 - 併せて、道内の支援機関や知財関係者に対し、スタートアップに対する理解や支援能力の向上を図る。
- 日程：2022年8月（予定）
 - 対象者：スタートアップ、支援機関、知財関係者
 - 内容：・講演「スタートアップの知財活用（仮）」
・パネルディスカッション

知財戦略策定アクセラレーション

- 当局・事務局（請負先）が、札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会からの推薦や、本事業の周知を通じて、支援ニーズの掘り起こし、成長支援型3社、基礎支援型5社のスタートアップを選定し、アクセラレーションプログラムを実施。



I-[1] ③スタートアップスタジオの試行

- ▶ 新たな事業成長支援モデル（スタートアップスタジオ型）として、アイデア・シード段階の起業家を対象に、事業構想の具体化に必要な「人材」、プロダクト・サービス等の試作に必要な「ノウハウ」、事業展開に必要な「ネットワーク」を提供し、スピーディかつ円滑なビジネス創出に繋げる。

支援対象

- 当局・事務局（委託先）が、札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会等を通じて、地域の課題解決に資する事業アイデアや、地域の特色を活かした事業アイデアを持つ起業家等を募集し、実現可能性の高い案件を選定。

事業内容

①事業アイデアの募集・選定

②仮説検証を通じた事業構想の具体化

③事業計画の策定やプロトタイプ試作等にかかる支援



課題	ソリューション	独自の価値提案	圧倒的な優位性	顧客セグメント
1	4 主要指標	3	5 チャネル	2
コスト構造	7	収益の流れ	6	

<対象>

- これから起業する方など

<事業アイデアの例>

- 1次産業のDXを推進する事業
- シェアリングエコノミー(ライドシェア) 等



- メンターのサポートにより、課題に対し、提供する解決策がフィットしているかどうか仮説検証
- ユーザーヒアリング等を通じて、事業構想を具体化



- エンジニア・プログラマーによるサービス・プロダクトの要件定義、デザイナーによるプロダクトのUI・UXデザイン等にかかる支援等を実施

I-[2] ①人材マッチング支援

①-i 専門人材とのマッチング

- 道内スタートアップが必要とする専門人材（事業開発、エンジニア、財務等の職種）とのマッチングを実施。
- 経営力強化や人手不足に対応するため、兼業・副業人材をはじめ多様な人材の確保を支援。

- 支援候補先への人材ニーズ調査
- 道内スタートアップの魅力発信

☞7月以降、随時ニーズ調査を実施

- 支援先のリストアップ
- 求人票の作成
- マッチング人材の選定

☞調査結果及びヒアリングに基づき支援先をリストアップ

- 専門人材との個別面談
〈マッチング〉

☞(株)リージョンズが適切な専門人材を選定し、スタートアップ企業とのマッチングをサポート

①-ii インターンシップマッチングの開催

- スタートアップと、インターンや起業に関心を持つ学生とのマッチングイベントを開催。
- 意欲ある学生と繋がりたいスタートアップへ機会を提供するとともに、学生に対しても、直接、代表者の人柄や、業務内容、社内の教育体制等に触れる場を提供し、キャリアの形成を支援。

- 日時：2022年9月上中旬を予定
- 場所：SAPPORO Incubation Hub DRIVE
- 内容：スタートアップが複数社登壇し、事業内容の説明やインターンの業務内容等についてショートプレゼンを実施。



② VCとのマッチング支援

- スタートアップの資金調達を支援するため、道内スタートアップへの資金提供に意欲的な道外のVCを探索し、個別マッチングを実施。

VC候補先の探索・リストアップ

☞探索にあたっては、スタートアップ支援人材や支援機関等のネットワークを活用

マッチングイベントの開催

☞VC5社とスタートアップ企業10社程度のマッチングを実施（札幌市内で開催）

フォローアップ (個別面談)

☞双方の意向に基づき、個別面談の調整を実施

③ “NoMaps Dream Pitch 2022” の開催 -全国への登竜門-

- 新技術や斬新なアイデアを基に事業化を目指す起業家・研究者・スタートアップがビジネスプランを発表。
- 道外投資家とのマッチングを支援するとともに、全国規模のピッチコンテストへの参加機会を提供。

- 主なスケジュール -

- 6月30日 ビジネスプランの募集（締切：8月25日）
- 9月 2日 一次審査結果通知
- 9月10日 集合研修
- 9月12日～ プレゼンテーション指導の開始
- 10月20日 **ピッチコンテスト**（札幌市内で開催）
 - ☞13:00～17:00予定
 - ☞出場定員：最大15チーム程度



I - [3] ①支援ネットワーク強化 / ②デジタルセミナー / ③情報発信強化

① 支援ネットワーク強化

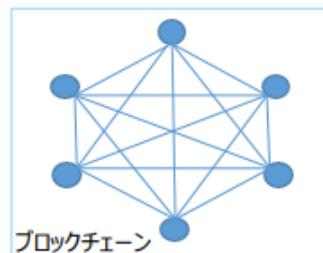
- スタートアップへの支援体制を充実するため、道内外の支援機関、VC、大手企業、支援人材等との支援ネットワークを拡大する。
- 特にJ-Startup HOKKAIDOでは、認定スタートアップとサポーターとの交流を促進し、さらなる支援の充実を図る。

② デジタル時代のスタートアップ創出セミナー

- 新たな起業家やスタートアップを生み出し、事業成長への好循環に繋げるため、起業家や起業を志す学生等に対して、デジタル時代の先端領域で活躍するスタートアップ経営者の取組や考え方に触れてもらう機会は重要。
- 札幌では、国内外で注目される「Web3.0※」領域におけるスタートアップが数社誕生していることから、同領域のスタートアップ経営者が取組を紹介する「スタートアップ創出セミナー」を開催する。

- 日 程：2022年10月（予定）
- 対象者：スタートアップ、支援機関 等
- 内 容：「Web3.0領域が可能にする新時代のビジネスモデル（仮）」

【Web 3.0】
Read, Write and Own



※Web3.0
ブロックチェーンによる相互認証、データの唯一性・真正性、改ざんに対する堅牢性に支えられて、個人がデータを所有・管理し、中央集権不在で個人同士が自由につながり交流・取引する世界。
(出所：経済産業省「経済秩序の激動期における経済産業政策の方向性」)

③ メディアを活用した情報発信の強化

- スタートアップ関連情報の発信に強みを持つメディアの協力を得て、道内スタートアップの最新の取組状況や、新規プロジェクト等の情報を積極的に発信する。

① 大手企業とのオープンイノベーションマッチング

- 協業・連携意欲が高い大手企業と、新たな技術やサービス等を持つスタートアップ等をマッチング。
- ITやものづくり、ヘルスケア等の分野に加えて、北海道が強みを有する一次産業分野や食分野における協業を促進する。



- 1 エントリー** 9月下旬～11月
大手企業のニーズをWEB上で公開し、スタートアップ等の提案を募集。
- 2 マッチング案件の選定** 11月・12月
大手企業が自社のニーズとマッチしているかを審査。
- 3 個別面談・マッチング** 1月～2月
大手企業との協業可能性について、面談・マッチングを通じて深堀り。
- 4 協業へ**
実証事業や、共同研究、新規事業等の開始へ

◆ 2021年度の実績

👉 シーズ提案件数

- シーズ提案件数：**84** 件（39者）

👉 個別面談の実施

- 個別面談件数：**54** 件（31者）

👉 個別面談実施後における今後の対応

- 協業に向けた商談継続件数：**47** 件

◆ 2021年度参加の大手企業

【これまでの協業事例】

- デジタル技術を活用した先進的なシステムを共同で開発
- スタートアップが開発した製品の効果測定のため、共同実証を実施
- 大手企業のプロジェクトに、道内のスタートアップ企業が開発した製品を導入

II ②自治体の課題解決<マッチング支援>

- 地域・社会課題が多様化し、自治体単独での課題対応が困難な中、地域で持続的に課題を解決するには、スタートアップ等の民間事業者と共創した取組を進めることが重要。
- (株)リバネス※に事業を委託し、①「農林水産・環境」、②「教育」の2テーマに焦点をあて、道内自治体の課題を選定。スタートアップ等とのマッチングを通じ、課題解決のためのプロジェクトを組成。

※主な事業は科学技術分野における教育、人材育成、研究、創業に関する企画・研究・コンサルティング業務（東京都所在）

i 自治体の課題解決のヒントに！

- 自治体と連携して地域・社会課題解決の取組を行うスタートアップ等の事例を紹介し、興味・関心を高め、本事業への参画を促す。

- 日時：2022年8月9日（火）13:00-16:00
- 場所：TKP札幌カンファレンスセンター（オンライン配信あり）
- 内容：👉トークセッション①農林水産・環境
👉トークセッション②教育

トークセッション①農林水産・環境

「自治体とスタートアップの挑戦～2030年その先の農林水畜産業～」



坪井 俊輔 氏
(株)サグリ



西岡 一洋 氏
Kisvin Science(株)

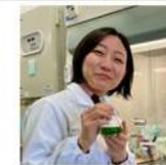


藤井 雄一郎 氏
(有)藤井牧場



川名 祥史 氏
(株)リバネス

トークセッション②教育「ゆっくり急げ。次世代教育から始める課題解決」



豊川 知華 氏
(株)ユージェナ



石川 まるみ 氏
理化学研究所



吉藤 オリィ 氏
(株)オリィ研究所



瀬野 亜希 氏
(株)リバネス

ii 課題のオープン化・スタートアップ等とのマッチング

①課題解決を望む自治体をヒアリング・選定

- 「農林水産・環境」、「教育」の各分野で4自治体を選定

②オンラインマッチングセミナーの開催 (9月下旬・2回)

- 自治体によるプレゼンテーション
- 自治体とスタートアップの個別面談

③ビジネスプランの作成等にかかる伴走支援

- 課題解決に貢献するビジネスプランの設計をサポート

- スタートアップ等が自治体と連携し、「地域・社会課題の解決」と「収益性」の両立を目指す取組について、実証事業を支援する。
- モデル事業として、環境系スタートアップである(株)komham（札幌）が、微生物による生ごみ処理事業、及び広告販売促進事業の複合運用により、自治体のごみ処理にかかる課題解決を図る。

【解決する地域課題】

- ☞ 生ごみ処理の喫緊の課題は、「温室効果ガスの削減」と「ごみ焼却施設の老朽化」。
- ☞ 課題解決のため、温室効果ガスの削減に寄与し、導入・維持コストが低いスマートコンポストによる新しいごみ処理方法を確立・普及する。

◆実証地域

札幌市、北海道当別町、渋谷区、
横浜市、草津市

1 「コムハム（微生物群）」を使用した生ごみ処理能力

【従来のコンポスト】
生ごみを数週間～数ヶ月で減容

【コムハムを用いたコンポスト】
生ごみを約1～3日で約98%減容

2 スマートコンポストへの「広告掲載による収益」

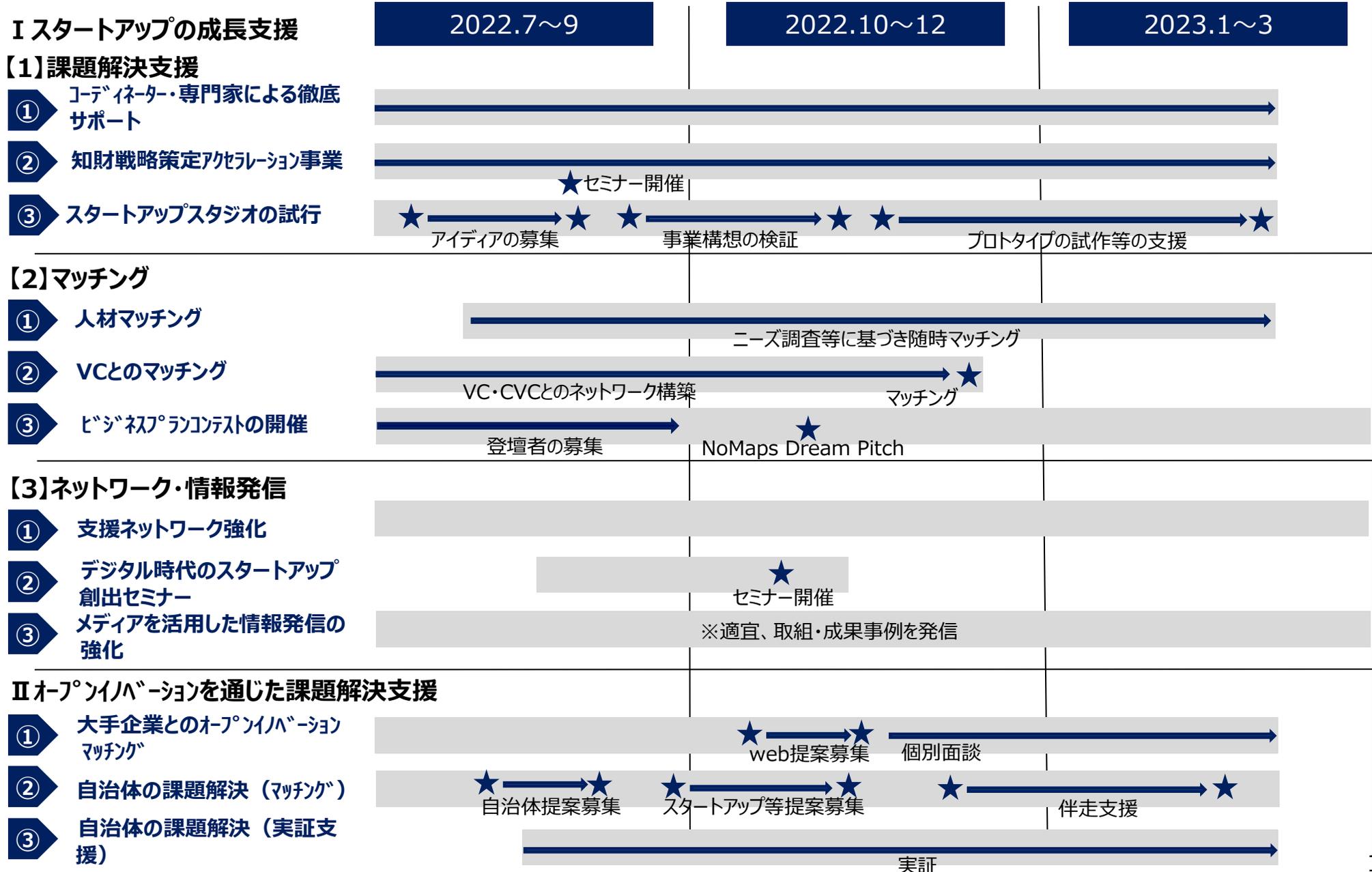
- スマートコンポストの側面に広告を掲載
- 広告収益を得ながら、発生するコストを広告収益と相殺



◆スマートコンポスト

- ・加温・攪拌の自動運用機能
- ・重量・温度の自動測定機能

4. 実施スケジュール



【参考1】 STARTUP CITY SAPPOROプロジェクト

- 2019年9月、札幌市、一般財団法人さっぽろ産業振興財団、株式会社D2Garageで組織するSTARTUP CITY SAPPORO事務局では、札幌ならびに北海道でのスタートアップエコシステムの構築、人材育成を目的とした新たなプロジェクト「STARTUP CITY SAPPORO」を始動。



【参考2】札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会

- 2020年1月、札幌市が推進役となり、行政・大学・民間組織等の関係機関が一体となって、札幌・北海道において、スタートアップの創出・成長がなされるスタートアップ・エコシステムの拠点を形成し、イノベティブな札幌・北海道を実現することを目的とした「札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会」を設立。同協議会は、2020年7月に、内閣府「スタートアップ・エコシステム推進拠点都市」に選定。

◆札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会名簿 ※区分毎に50音順に並べています。

区分等	機関・団体名
(自治体)	札幌市
	江別市
	帯広市
	函館市
(大学)	公立大学法人札幌市立大学
	国立大学法人北海道大学
	公立大学法人はこだて未来大学
	学校法人電子開発学園北海道情報大学
	国立大学法人北海道国立大学機構 小樽商科大学
	国立大学法人 室蘭工業大学
	独立行政法人国立高等専門学校機構 函館工業高等専門学校
	国立大学法人北海道国立大学機構 北見工業大学
	独立行政法人国立高等専門学校機構 苫小牧工業高等専門学校
	(経済団体)
北海道経済同友会	
北海道経済連合会	
(金融機関)	証券会員制法人札幌証券取引所
	株式会社日本政策金融公庫
	株式会社日本政策投資銀行
	株式会社北洋銀行
	株式会社北海道銀行

(支援機関)	札幌AIラボ
	一般財団法人さっぽろ産業振興財団
	SAPPORO BI LAB
	Sapporo Founders Fund
	国立研究開発法人 産業技術総合研究所北海道センター
	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) イノベーション推進部
	独立行政法人 中小企業基盤整備機構北海道本部
	株式会社D2Garage
	独立行政法人 日本貿易振興機構 (JETRO) 北海道貿易情報センター
	No Maps 実行委員会
	フードバレーとかち推進協議会
	一般社団法人北海道IT推進協会
	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター
	北海道ベンチャーキャピタル株式会社
地方独立行政法人北海道立総合研究機構	
顧問機関	経済産業省北海道経済産業局
	総務省北海道総合通信局
	北海道

【参考3-①】 「J-Startup HOKKAIDO」 について

- ▶ 北海道経済産業局、札幌市、さっぽろ産業振興財団が共同で、地域発でグローバルな活躍を目指すスタートアップ企業を32社選定。公的機関と民間企業が連携して集中支援を行うことで、スタートアップ企業の飛躍的な成長を図る。



【選定基準】

先進性、成長性、イノベーション、経営者の意欲、経営・資金計画

【支援内容】

- ・J-Startup HOKKAIDO特設ページでの企業PR
- ・J-Startup HOKKAIDOサポーターズによる各種支援
- ・経済産業省関連補助金等加算措置
- ・認定企業専用相談窓口の設置（STARTUP CITY SAPPOROに設置）
- ・イベント出展支援
- ・ピッチイベント、アクセラレータープログラムなどへの優先紹介
- ・事務局によるビジネスマッチング支援
- ・先輩起業家によるメンタリング等

サポーターズ参画機関（2022年7月20日現在：47機関）

- | | | | |
|---------------------|-------------------------|--------------------|---------------------|
| ◆(株)アカデミック・ギャングスター | ◆(株)シリコンバレーベンチャーズ | ◆(株)トラックス | ◆(株)北洋銀行 |
| ◆アンビシャス総合法律事務所 | ◆(株)ショーケース | ◆(株)トレイルヘッド | ◆(株)北海道アルバイト情報社 |
| ◆イークラウド(株) | ◆法律事務所ZeLo・外国法共同事業 | ◆日本政策金融公庫 | ◆(株)北海道銀行 |
| ◆EY新日本有限責任監査法人札幌事務所 | ◆大日本印刷(株) | ◆日本生命保険相互会社 | ◆北海道新聞社 |
| ◆(特非)インデペンデンツクラブ | ◆(株)タスク | ◆JETRO北海道情報センター | ◆北海道コカ・コーラボトリング(株) |
| ◆EXPACT(株) | ◆(独)中小企業基盤整備機構北海道 | ◆(株)日本M&Aセンター | ◆北海道ベンチャーキャピタル(株) |
| ◆(株)CAMPFIRE | ◆(株)D2Garage | ◆(株)パソナ | ◆(株)丸ヨ池内 |
| ◆(一社)交通都市型まちづくり研究所 | ◆テトラフォース・パートナーズ有限責任事業組合 | ◆(株)PRTIMES | ◆三井住友海上火災保険(株) |
| ◆SK弁理士法人 | ◆(公財)とちか財団 | ◆(株)FUNDINNO | ◆三井住友信託銀行(株) |
| ◆札幌証券取引所 | ◆東京海上日動火災保険(株) | ◆合同会社ブルーサークル | ◆北海道地域創生プラットフォーム(株) |
| ◆産業技術総合研究所北海道センター | ◆東京中小企業投資育成(株) | ◆(株)ブルパス・キャピタル | ◆有限責任監査法人トーマツ札幌事務所 |
| ◆(株)JT北海道事業部 | ◆豊田合成(株) | ◆(株)プルータス・コンサルティング | |

➤ IT (AI、IoT、データ等)



➤ ライフサイエンス



➤ 航空宇宙



➤ 食・一次産業



➤ 環境・素材

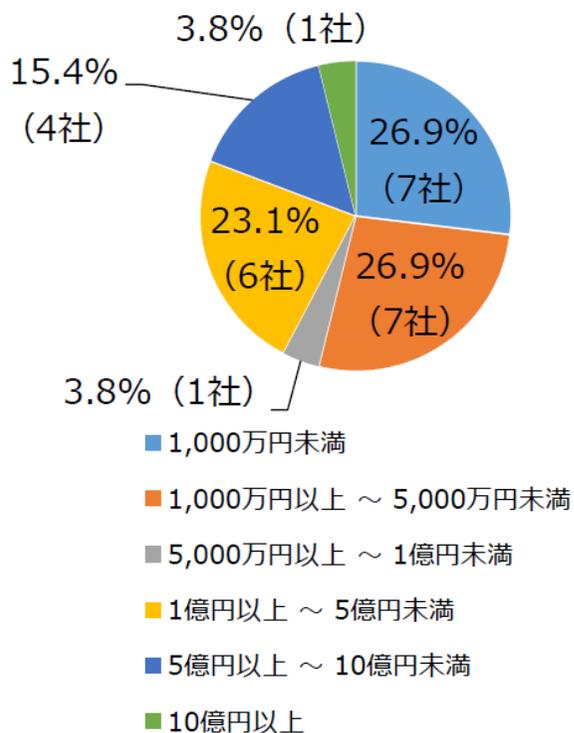


【参考3-③】 J-Startup HOKKAIDO売上高

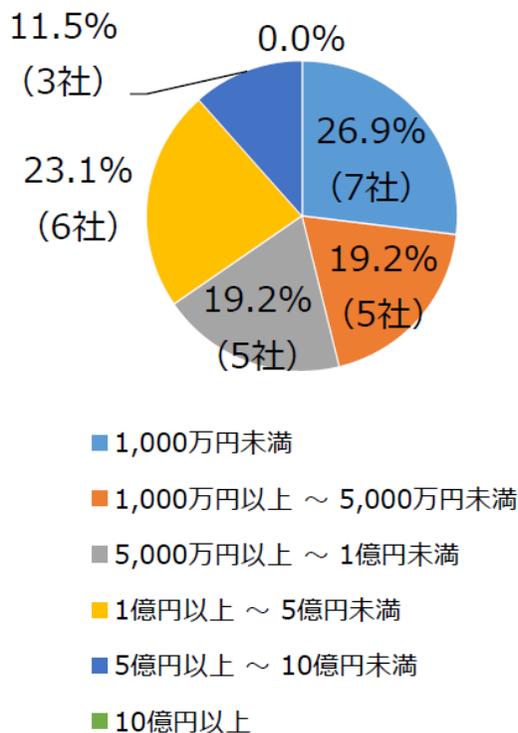
- 2022年1月時点において、J-Startup HOKKAIDO認定各社の先期決算期の売上高は合計約40億円で、今期決算期は約60億円となり、全体の売上高は46.7%増加。
- また、今期決算期において、エクイティ・ファイナンスによる資金調達を実施した企業は9社（30%）であり、半数以上が1億円以上の資金を調達し、合計額は約35億円。

※「今期」、「先期」は、2022年1月調査時点での表記

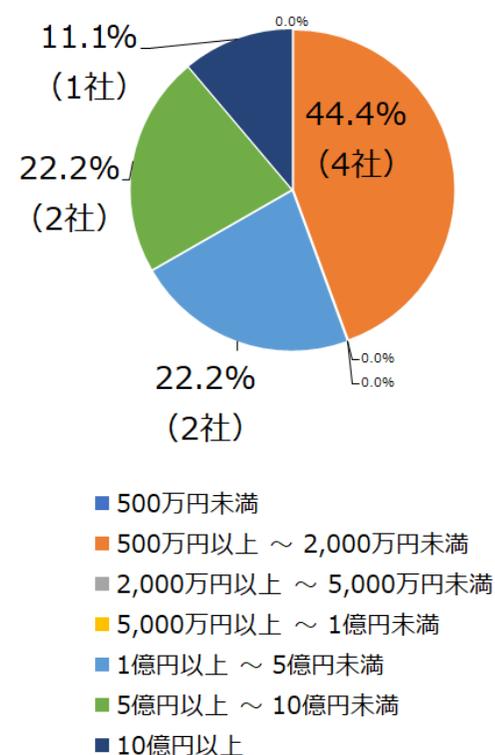
今期決算期の売上高（見込）



先期決算期の売上高



今期決算期の資金調達額



出所：令和3年度北海道内の起業家及び「J-Startup HOKKAIDO」認定企業の経営状況等にかかる調査事業（北海道経済産業局）
 ※本調査では、J-Startup HOKKAIDO認定32社へアンケート調査を実施し、30社から回答。

【参考4】スタートアップの都道府県別資金調達額の推移

- 国内スタートアップの資金調達や投資動向についてまとめた「Japan Startup Finance」の報告によると、日本全体のスタートアップの資金調達額は、2021年に7,801億円。内訳は、東京都所在のスタートアップの資金調達額は6,531億円と、全体の83%を占める。北海道は54億円となり、全国7位。

地域別調達額の推移

(億円)	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
東京都	515	661	1149	1466	2065	2741	3835	4736	4403	6531
神奈川県	20	49	41	50	89	188	149	227	101	245
京都府	25	30	29	81	51	103	87	98	103	166
山形県	0	8	36	130	4	22	69	78	87	155
福岡県	6	13	25	41	44	136	119	82	101	144
大阪府	16	42	59	89	74	91	131	109	124	139
北海道	4	2	5	14	25	15	34	63	22	54
兵庫県	4	9	15	14	15	24	27	44	31	45

【参考5】 札幌・北海道スタートアップ・エコシステム協議会のKPIについて

北海道スタートアップの資金調達額は昨年比で約2倍の増加を達成

(2020年度:35億円 → 2021年度:69億円)

北海道内のスタートアップ向けファンド規模も昨年比で約4割の増加を達成

(2020年度:15億円 → 2021年度:20.7億円)

協議会のKPI

資金調達する
北海道スタートアップ数



2024年度半年

13/50社

北海道スタートアップの
資金調達額



2024年度半年

69/100億円

北海道内のスタートアップ
向けファンド規模



2024年度までの累計

21/40億円

北海道での
スタートアップビザ発給件数



2024年度までの累計

2/40件

北海道内の
大学発スタートアップ数



2024年度までの累計

93/150社